

第6学年 道徳学習指導案

2025年11月22日土曜日 4校時
町田市立小山小学校

指導者 1組（32名） 竹下 桃子
2組（33名） 嶋中 智彦
3組（32名） 横田 尚紀
4組（32名） 藤田 恵未

1 ねらい

どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。
「正直、誠実」（学習指導要領の内容）

2 資料名 「手品師」

（出典 東京書籍「新しい道徳」第6学年）

3 展開

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導入	1 価値項目に迫るアンケートを行い、アンケート結果を共有する。	○匿名のアンケートを行うことで自由に意見を述べられるようにする。
展開	2 「手品師」を読んで話し合う。 ①手品師は、どんな気持ちで男の子に「絶対来るよ」と言ったのでしょうか？ C：男の子がかわいそう C：どうせ暇だから ②友人からの誘いを断るまでの間、手品師はどんなことを考えたのでしょうか。 C：こんなチャンスは二度とない。 C：男の子の悲しい顔は見たくない。 ③翌日たった一人のお客様を前に手品を演じる手品師はどんなことを思ったのでしょうか。 C：男の子が喜んでくれてよかった。 C：自分の決断は間違えてなかった。 3 誠実な生き方について考える。	○スライドを用いて簡単なあらすじを把握する。 ○自分自身に誠実に行動することの難しさを考えさせる。 ○発問前に手品師が大切にした「誠実さ」とは何だったのか考えさせる。 ☆自分自身の経験と重ねて誠実な生き方について考えている。
終末	4 教師の話を聞く。	○誠実に行動できた経験を話す。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。